慣用句(上級)プリント23

月　日　名前 _____

問1　「顔を売る」の意味はどれですか？

1. 自分の名前や存在を広く知られるようにする
2. 自分の顔を隠して正体を明かさない
3. 顔の広さを利用して無理な要求を通す
4. 自分の顔を他人に売って金銭を得る

問2　「身の毛がよだつ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 驚きのあまり、身の毛がよだつほど大きな声を出した。
2. 美容室で髪を切りすぎて、身の毛がよだつ仕上がりになった。
3. 暗い夜道で背後に気配を感じ、身の毛がよだつ思いがした。
4. 冬の寒さで震えてしまい、身の毛がよだつほどだった。

問3　「錦を飾る」の意味はどれですか？

1. 自分の功績を誇張して、周囲に認めさせようとする
2. 成功して故郷に帰る、または立派な姿で帰ってくる
3. 高価な装飾品で身を飾り、富を周囲に見せびらかす
4. 美しい衣装を身にまとい、華やかな舞台に立つ

問4　見知らぬ男に（　）食わされた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 二杯
2. 四杯
3. 三杯
4. 一杯

問5　「目を向ける」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 環境保護活動に目を向ける人が増えている。
2. カメラのレンズに目を向けて、ポーズをとる。
3. 彼は恥ずかしくて、壁の方に目を向けてしまった。
4. 遠くの山に目を向けると、美しい景色が広がっていた。

問6　最終的な判断は彼に（　）を預けることにした。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 靴
2. 草履
3. 下駄
4. 足袋

問7　「眉を曇らせる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 失礼な態度をとる相手に対して、彼は眉を曇らせた。
2. 雨が降りそうになって、空が眉を曇らせていた。
3. 鏡を見ながら、自分の眉を曇らせてきれいに整えた。
4. 不況による業績悪化の報告を聞き、社長は眉を曇らせた。

問8　老舗の料理に（　）鼓を打つ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 耳
2. 舌
3. 指
4. 胸

問9　「肩を叩く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 定年を前に、会社から肩を叩かれて退職を決意した。
2. 重い荷物を運ぶ前に、肩を叩いて体をほぐした。
3. 後ろから声をかけるために、友人の肩を叩いた。
4. 疲れている同僚の肩を叩いて、マッサージをした。

問10　あの店長は地元で（　）がきく。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 鼻
2. 口
3. 耳
4. 顔

問11　「相槌を打つ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 相手の言葉を無視して、黙って相槌を打つ。
2. 友人の話をよく聞いて、相槌を打つ。
3. 音楽のリズムに合わせて、太鼓で相槌を打つ。
4. 誰もいない静かな部屋で、一人で相槌を打つ。

問12　「手中に収める」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 宝物を手中に収めて、誰にも見られないように隠した。
2. 重い荷物を手中に収めて、彼は慎重に歩き出した。
3. 彼は長年の努力の末、ついに念願のタイトルを手中に収めた。
4. 彼はペンを手中に収めて、書類にサインを書き込んだ。

問13　「先手を打つ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 先手を打つために、まずは相手の顔を叩いた。
2. 値上げが予想されたので、先手を打って買いだめした。
3. 彼は先手を打つのが好きで、いつも一番に並ぶ。
4. 相手が来る前に先手を打って、ドアを閉めた。

問14　「気を回す」の意味はどれですか？

1. 物事の成り行きを注意深く観察すること
2. 相手の気持ちを察して、先回りして行動すること
3. あれこれと推測して、余計なことまで考えること
4. 周囲の状況に合わせて、自分の考えを変えること

問15　「尻に火がつく」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 夏休みの宿題を最終日にやり始め、尻に火がついた。
2. キャンプで焚き火をしていて尻に火がついた。
3. 尻に火がついたので、すぐに水で消火した。
4. 彼は尻に火がついたような熱いダンスを披露した。

問16　「白黒をつける」の意味はどれですか？

1. 物事の良し悪しを判断せず放置する
2. 物事の裏表を調べて秘密を暴く
3. 物事の優劣を競い合って勝敗を決める
4. 物事の是非や善悪をはっきりさせる

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)プリント23　答え合わせ・解説

問1　答え 1　自分の名前や存在を広く知られるようにする
「顔を売る」は「自分の名前や存在を広く知られるようにする」という意味です。

問2　答え 3　暗い夜道で背後に気配を感じ、身の毛がよだつ思いがした。
「身の毛がよだつ」の正しい使い方は「暗い夜道で背後に気配を感じ、身の毛がよだつ思いがした。」です。 意味は「恐ろしさや不気味さで、ぞっとする」です。

問3　答え 2　成功して故郷に帰る、または立派な姿で帰ってくる
「錦を飾る」は「成功して故郷に帰る、または立派な姿で帰ってくる」という意味です。

問4　答え 4　一杯
「一杯食わす（食わされる）」の「一杯」が入ります。 意味は「うまいことを言って、まんまと人をだます」です。

問5　答え 1　環境保護活動に目を向ける人が増えている。
「目を向ける」は「ある対象に関心を持ち、注意を払う」という意味の慣用句です。正解以外の選択肢は、それぞれ「目を奪われた」「目を丸くした」「目をつむろう」など、別の「目」の慣用句を使うのが適切です。

問6　答え 3　下駄
「下駄を預ける」の「下駄」の部分が入ります。 意味は「物事の決定や処理を相手に一任する」です。

問7　答え 4　不況による業績悪化の報告を聞き、社長は眉を曇らせた。
「眉を曇らせる」は、心配や不安のために表情を暗くすることを意味します。業績悪化の報告を受けて心配する社長の様子を表した文が正しい使い方です。なお、失礼な態度に嫌悪感や不快感を示す場合は「眉をひそめる」を使うのが適切です。

問8　答え 2　舌
「舌鼓（したつづみ）を打つ」の「舌」が入ります。意味は「美味しいものを食べて満足する」です。

問9　答え 1　定年を前に、会社から肩を叩かれて退職を決意した。
慣用句としての「肩を叩く」は「上の立場の人が、それとなく退職をすすめる」という意味で使います。そのため「定年を前に、会社から肩を叩かれて退職を決意した。」が正しい使い方です。

問10　答え 4　顔
「顔がきく」の「顔」の部分が入ります。 意味は「顔見知りが多く、特別な扱いを受けられる」です。

問11　答え 2　友人の話をよく聞いて、相槌を打つ。
「相槌（あいづち）を打つ」の正しい使い方は「友人の話をよく聞いて、相槌を打つ。」です。意味は「相手の話に合わせて、調子を合わせてうなずく」ことです。

問12　答え 3　彼は長年の努力の末、ついに念願のタイトルを手中に収めた。
「手中に収める」の正しい使い方は「彼は長年の努力の末、ついに念願のタイトルを手中に収めた。」です。 意味は「自分の支配下や管理下に置く」です。

問13　答え 2　値上げが予想されたので、先手を打って買いだめした。
「先手を打つ」の正しい使い方は「値上げが予想されたので、先手を打って買いだめした。」です。 意味は「相手が行動を起こす前に、あらかじめ対策を講じる」です。

問14　答え 3　あれこれと推測して、余計なことまで考えること
「気を回す」は「あれこれと推測して、余計なことまで考えること」という意味です。

問15　答え 1　夏休みの宿題を最終日にやり始め、尻に火がついた。
「尻に火がつく」の正しい使い方は「夏休みの宿題を最終日にやり始め、尻に火がついた。」です。 意味は「物事が差し迫ってきて、落ち着いていられなくなる」です。

問16　答え 4　物事の是非や善悪をはっきりさせる
「白黒をつける」は「物事の是非や善悪をはっきりさせる」という意味です。